

長野県議会議員 自民党県議団

# 竹内まさみ

# 活動報告

令和4年9月発行 第12号

竹内正美 事務所

【坂城】坂城町坂城10046-101

TEL 0268-82-7377

【千曲】千曲市桜堂523-38 1階

TEL 026-214-7410

URL takeuchimasami.com



## 精力的に活動しています！活動の一部をご報告します

2022年4月～2022年8月



案内

広報副委員長として小学生に議場を案内



要望

県知事と情報交換  
子育て支援について要望



運営

産業観光企業委員会副委員長として運営



交流

稲荷山祇園祭お披露目式に参加



交流

起業女性のトークイベントに登壇



見学

戸倉上山田商工会  
工業部会製作のEV車を見学



調査

委員会にて発電所の現地調査



視察

子ども食堂「かみとくま食堂」にて情報交換

(1) 県内では昨年度待機児童ゼロを達成しており評価するが、全国的には小1の子どもの利用率が保育の8割程度であり、県内も予断を許さない状況であると認識している。今後の女性就業率上昇を踏まえ、どのように更なる受け皿の整備を進めていくか伺う。

(2) 子どもの主体性を尊重し、子どもの健全な育成を図る放課後児童クラブの役割を徹底し、子ども

### 新・放課後子ども総合プランの取り組みについて

(野中) 子ども若者局長

進めていくのか所見を伺う。

(1) 女性が抱える困難な問題への支援には、福祉、保健医療、労働、住まい、福祉、保健医療、労働の様々な部署が関連することから、連携の強化とともに、各分野に関わる民間団体との協働が欠かせないと考えるがいかがか。また、法律に義務付けられている県の基本計画の策定に当たって、民間の意見集約を含め、どのように進めていくのか所見を伺う。

### 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律について

(1) 再編・整備計画に当たって、どのように関係者の理解を得ながら、また、協議会からの意見、提案を最大限尊重してきたのか伺う。

(2) 再編案は今後、県議会や地域での議論を経て確定されるわけだが、同窓会や地域の声をどのようにに聴いていく予定か。

(3) 屋代南高校では地域との協働による学びを長年続けてきたが、新校になった場合、この伝統ある学びの継承についてはどのように考えているか伺う。(内堀教育長)

## 6月 定例会一般質問

### 県立高の再編・整備計画について



竹内議員の質問を要約したものを掲載しております。質問・答弁の全文は公式サイトをご覧ください。

(2) 女性非正規雇用労働者について、これまで、本議会・委員会でも議論されてきたが、コロナ禍で表面化した女性雇用の問題点とその対応策を伺う。

(林産業労働部長)

(3) 本県でも、ひとり親家庭等の自立のために、就業支援や能力開発のための支援を行っていただいているが、コロナ禍において、さらなる支援を必要としている人がいる中、きめ細やかな施策展開が早急に必要だと考える。コロナ禍におけるひとり親家庭の自立のための就業支援について、県はどのように取り組んでいくのか伺う。(野中) 子ども若者局長

もの自主性、社会性のより一層の向上を図るためにどのような取り組みを計画しているか伺う。

(3) 放課後児童支援員の専門性向上と質の高い人材を安定的に確保することも重要と考える。国では令和3年度補正予算において放課後児童クラブ予算の拡充がなされた。その中で、放課後児童支援員等を対象に賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提として、収入を3%程度(月額9千円)引き上げるための措置を本年2月から実施しているが、県内の状況及びそれに対する県の考えを伺う。(野中) 子ども若者局長

### 雇用・就業・働き方について

(1) 「会社は人に幸せをもたらす場である」という考え方も企業経営に必要であり、こうした意識がこれまで以上に経営者に必要になっていくと考えるが、県の所見を伺う。

(5) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気の悪化により、障がい者の就労継続支援事業所が受注する作業も減少し、工賃等が低下しているという。外的要因に影響を受けてやすい障がい者の就労支援を受けて、昨今の経済状況を踏まえた障がい者の就労継続支援事業所への県の支援強化を期待するが、所見を伺う。(福田健康福祉部長)

●他二点林産業労働部長に伺う

### 新聞報道についてのお詫びとご報告

新聞各紙に私の政治活動と旧統一教会の関連団体との接点についての記事が掲載されました。不快な思いをさせてしまった県民の皆様には心からお詫び申し上げます。

これまでも政治活動には慎重に向き合ってきましたが、今後の活動については慎重にも慎重を期して対応をして参ります。

なお、新聞記者の方々にも説明をさせていただきましたが、金銭的関係は一切なく、推薦・支持も受けておりません。当然選挙協力も一切ありませんことを申し添えてご報告といたします。

竹内正美

### 長野県議会議員：竹内正美プロフィール

- 長野商業高校卒業 ●千曲市土口出身/坂城町上平在住 ●キャリアコンサルタント(国家資格) ●産業カウンセラー ●生涯学習開発財団認定コーチ ●信州おもてなしマイスター
- 自民党長野県連女性局顧問 ●自民党長野県千曲市・埴科郡第一支部長 ●令和4年度 産業観光企業委員会副委員長 ●令和4年度 広報委員会副委員長

令和三年度

長野県議会議員 自民党県議団 竹内まさみ

## 県議会一般質問での発言と回答

昨年度(令和三年度)における  
県議会一般質問での発言とその  
回答についてまとめました!



2021

6月

### 養育先における児童虐待事件に関する 県の責任、そして再発防止について

発言

県は児童相談所から児童を預かっていた養育者が、養育していた延べ3人の児童に性的虐待や身体的虐待を行っていた事実を確認したと明らかにした。本来、最も安全、安心な環境で守られるべき児童がこのような被害を受けることになってしまったことに、里親の審査、認定を行い、児童を委託した県としての責任及び二度とこのような事件を起こさないためにどのような決意で今後再発防止に取り組むのか。

回答

養育先で虐待を受けるという、あってはならないことが起きてしまったことについて、県として大変申し訳なく思っている。被害に遭われた児童及び御家族の皆様には心からおわびを申し上げます。こうした事件が発生してしまったことを重く受け止めなければいけない。再発防止に向け、あらゆる手段を検討して徹底した対策を行っていかねばならないと考えている。こうしたことが二度と起きることがないように、安心して里親の下で子供たちが養育されるような仕組みを構築して再発防止に全力で取り組んでいきたい。(阿部知事)

地域の皆様の声と私の想いを県政へ届け、  
実行できるよう提言を行って参ります!

2021

9月

### ギャンブル等依存症対策について

発言

千曲市内に県内初の公営ギャンブル関連施設が開業したことから、ギャンブル等依存症は県民の皆様への身近な問題として対策が必要と考えるが、県の依存症対策、中でもギャンブル等依存症に係る県の取組状況についてはいかがか。

回答

まずギャンブル等依存症への対策を推進しつつ、並行して依存症を一体的に捉えた依存症対策推進計画を令和5年度末の信州保健医療総合計画の改定に合わせて策定することを検討している。身近な疾病である依存症について、予防から回復まで支え合える長野県を目指し、施策の推進と計画の策定を進めていく。(福田健康福祉部長)

2021

11月

### 稲荷山医療福祉センターについて

発言

稲荷山医療福祉センターに対する本県の健康福祉分野での期待についてと、施設老朽化に対して、県としてどのような支援が考えられるか。

回答

肢体不自由など重度の障害のあるお子さんを支える大変重要な役割を果たしていると考えている。こうしたセンターの役割は今後も引き続き適切に果たしていただくことを期待している。同センターが担う役割の重要性に鑑み、老朽化が進む施設の整備についても、支援の在り方について国等とも相談しながら検討してまいりたい。(福田健康福祉部長)

2021

11月

### 犯罪被害者等支援条例について

発言

犯罪被害者にとって経済的負担の軽減が大変重要であり、県として見舞金を支給すべきと思うが、どのように考えるか。

回答

他の都道府県における見舞金制度も参考にしながら、重大な被害を受けた方に対する支援の在り方について検討を深めていきたい。(阿部知事)

2022

2月

### 国道18号坂城更埴バイパスおよび 県道坂城インター線の延伸について

発言

国が進めている国道18号坂城更埴バイパス整備の進捗状況をどう考えているのか。また、今後の見通しと、見直しに対する県の考え方は。また、関連する坂城インター線の延伸の見直しについては。

回答

事業中区分につきましては、調査設計、埋蔵文化財調査及び工事が進められているところ。着実に事業が進んでいると認識している。当バイパスについては、道路ネットワーク整備による産業・観光面の効果に期待しているところであり、引き続き坂城町と連携し、用地買収などの協力をするとともに、国に事業中区分の早期完成及び未事業化区間の早期着手について要望していく。

本路線につきましては、将来的に国道18号坂城更埴バイパスへ接続することにより、坂城インターチェンジへのアクセス性が向上する。現在、国道18号からテクノさかき工業団地までの区間については、早期完成に向け鋭意整備を進めており、その先線の延伸区間についても、今年度から千曲川を渡る橋梁の予備設計に着手した。現在施工している区間の早期完成はもとより、延伸区間についても国道18号坂城更埴バイパスと一体的に機能が発揮できるよう、今後調査設計及び関係機関との調整を進めていく。(田下建設部長)

発言

国道18号坂城更埴バイパスを含む道路ネットワーク完成による産業振興へのメリットは。また、坂城更埴バイパス沿線地域の観光振興についての県の考え方は。

回答

当バイパスを含めた基幹的な道路網がさらに充実することで、物流の効果や生産性の向上、自然災害など非常時における代替道路の確保、国道18号の混雑緩和による通勤時間の短縮効果など産業振興の面でも多くのメリットがあると考えられる。県の支援策としては、新たに立地する際の産業投資応援助成金、本社機能の一部や研究施設等に対する本社等移転促進助成金、全国トップ水準の助成率となるICT産業立地助成金などの支援策を設けており、市町村と連携して企業の誘致に取り組んでいく。(林産業労働部長)

当該バイパス沿線には魅力ある多くの観光資源があるものと認識している。これらを生かし、広域的な視点も含め、どのような地域をつくり観光振興を図るのかということ新たな道路の建設を契機に地域全体で考えていくことが重要。今後も、地域が自らビジョンを描き、取り組んでいく観光地域づくりを、その実情に合わせて支援していく。(渡辺観光部長)